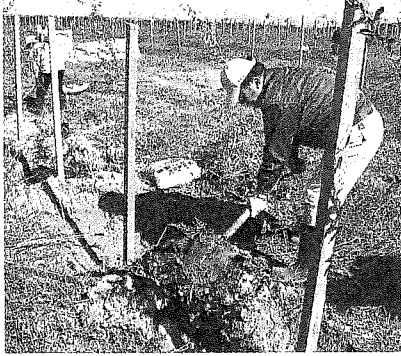


宮坂建設工業札幌支店

森づくりの協力し植樹

成長願い手稲山口緑地に苗木400本



宮坂建設工業(株) (帯広、宮坂寿文社長)の札幌支店 (佐々木勝幸支店長) は九月二十八日、札幌市手稲区

「森づくりに関する協定」に基づき協働型地域貢献活動。晴天に恵まれた当日は、佐々木支店長をはじめ役職

員、技術指導を行うNPO法人「新山草木を育てる集い」のメンバーら約三十人が参加した。植樹会も三回目とあって、参加者は植える際の深さや肥料の配分などについて気を配りながら、手際よく作業を進めた。写真。この日植えたのは、カンワ、ドロノキ、トドマツ、チンマザクラなど四百本。順調に育つよう一本一本に願いを込めた。同支店は、ごみ埋め立て地である山口緑地七千平方メートルに、平成三十一年三月までに苗木三千五百本を植え、下草刈りなど維持管理を行う計画。

手稲山口でトドマツなど植樹

宮坂建設工業

宮坂建設工業札幌支店 (北区)は9月28日、手稲区の山口緑地でトドマツなど400本の苗木を



植樹した写真。

2011年1月に札幌市と締結した「さつぽろふるさと森づくり」協定に基づく協働型地域貢献活動の一環。

同緑地内の7000平方メートルに19年3月末までに3500本の樹木を植え、下草刈りなどの維持管理を継続する。

今回は、佐々木勝幸支店長ら30人がカシワ、ドロノキ、トドマツ、チンマザクラなどの苗木約400本を植えた。